

Intellectual Property Rights 知的財産権


森林研究本部が保有する知的財産権

道総研になってから登録されたものを中心に、森林研究本部が保有する知的財産権を紹介します。


特許

3軸 NC 木工旋盤システム・工具経路生成方法・工具経路生成プログラム及び記録媒体	特許権	林産試験場
	<p>コンピュータで立体形状の数値を制御し、連動した3軸の木工旋盤（チップソー）により、凹凸や左右非対称の複雑な形状を加工するシステムです。加工時間の短縮や低コスト化が可能になりました。</p> <p>〔登録年月日〕 2011.7.22 〔登録番号〕 4784767</p>	
緑化資材とその製造方法	特許権	林産試験場
	<p>気相アンモニア処理を施すことにより、木質バイオマスに窒素分を付与し、植物の発芽や生育を阻害する成分を除去する技術です。植物の発芽および生育に適した資材ですので、法面などにおける緑化基盤吹付工の緑化用資材や、農業用の育苗培土へ配合する有機質資材として利用できます。</p> <p>〔登録年月日〕 2012.8.24 〔登録番号〕 5066829</p>	
繊維板およびその製造方法	特許権	林産試験場
	<p>通常、繊維板は木材チップを蒸煮・解繊して得られた木材繊維（ファイバー）から製造します。本発明では、蒸煮・解繊前に木材チップを高温水や常温水で簡易な処理を行うことにより強度や寸法安定性に優れた繊維板が得られます。</p> <p>〔登録年月日〕 2013.4.19 〔登録番号〕 5245033</p>	
機能性を富化するきのこの製造技術	特許権	林産試験場
	<p>エノキタケやシイタケを原料として、血圧抑制および精神安定作用をもつ健康機能成分「GABA」（γ-アミノ酪酸）を増やした食品素材を効率良く製造する技術です。</p> <p>〔登録年月日〕 2013.4.19 〔登録番号〕 5245304</p>	
色彩浮造り合板の製造方法	特許権	林産試験場
	<p>着色された接着剤を使って合板を製造し、表面に浮造りを施して接着層を露出させることで木目に沿った凹凸と鮮やかな色彩を持つ匠性の高い合板の製造が可能となります。</p> <p>〔登録年月日〕 2014.1.10 〔登録番号〕 5444633</p>	
振動を用いた樹木の特性測定装置並びに特性測定方法	特許権	林業試験場
	<p>非破壊で樹木内部の状況を把握することができる装置です。</p> <p>〔登録年月日〕 2014.5.9 〔登録番号〕 5531251</p>	
熱圧処理木材ならびにその製造方法	特許権	林産試験場
	<p>従来の圧縮木材生産技術を発展させ、節の多い針葉樹材の圧縮に最適化した複数の板材による相互横幅拘束方法と、横幅拡張を伴う独創的な形状変化により圧縮板材を作る熱圧処理方法です。針葉樹材に広葉樹材同等以上の性能を付与できますので、フローリングや内装材にも利用できます。</p> <p>〔登録年月日〕 2014.10.17 〔登録番号〕 5629863</p>	


特許

■木質板積層圧密接合構造		特許権	林産試験場
	長尺の単板を交互に重ねたものを圧密することで、L字やT字などの軸部材を提供する接合技術を開発しました。フェノール樹脂を含浸した単板を用いることで、圧密の復元も十分に抑制されています。高剛性かつ高強度の木質フレーム構造を構成する部材としての活用を考えています。		
〔登録年月日〕 2014.10.24		〔登録番号〕 5633041	
■ササの増殖方法		組織培養によってササ苗を効率的に生産する方法	
3893476	林業試	◀道総研以前に登録 (1件)	

意匠

■名札ケース		意匠権	林産試験場
	ネックストラップ等に取り付けて使用する名札ケースで、木製部品とアクリル樹脂等の透明部品からなる独自の意匠性と、裏側にスリットを設けることで名刺等カードの出し入れがスムーズにできる機能性をあわせ持っています。		
〔登録年月日〕 2014.12.12		〔登録番号〕 1515412	
■木質ペレットを燃料とする強制給排気形ストーブ		◀道総研以前に登録 (2件)	
1329544	林産試	一般家庭に設置しやすく薄型で全高を低くしペレット補充が容易	
■組立式家屋等の骨組		組立式家屋等の骨組に、柱と登り梁を一体化したわん曲集成材を使用	
1382166	林産試		

品種登録

■ぶなしめじマープレ 219		育成者権	林産試験場
	品種登録済みの「マープレ88-8」と保存菌株とを交配し、選抜、育成した品種です。広葉樹、針葉樹いづれのおが粉を使用しても栽培可能で、従来品種より培養日数が短く、高品質のきのこの生産が可能な瓶栽培向きの品種です。		
〔登録年月日〕 2011.3.15		〔登録番号〕 20595	
■コンサレド ■ノーストピア ■北彩 (きたあやか) ■プリティーシャイン		◀道総研以前に登録 (8件)	
13277 ~ 13280	林業試	ハマナス類の交配品種	
■国後陽紅 (くなしりようこう)		チシマザクラの選抜品種	
15615	林業試		
■ぶなしめじ マープレ 88-8		菌傘の大理石模様が明瞭で、柄の白色度が高い品種	
10959	林産試		
■たもぎたけ エルムマッシュ 291		食品機能性に優れ施設栽培向きの品種	
15387	林産試		
■まいたけ 大雪華の舞 1号		収量に優れ、歯触りも良好な品種	
17041	林産試		

知的財産権の取扱い

道総研における知的財産権の取り扱いについて紹介します。

■「道総研知的財産ポリシー」

道総研は、知的財産を尊重することを基本とし、知的財産を創造・保護・活用する「知的創造サイクル」を機能させるため、「道総研知財ポリシー」を定め、知的財産の取扱いの方針を明らかにするとともに、道総研に勤務する職員の共通認識としています。

■研究成果に係る知財保護

研究成果について権利化になるかどうか検討します。

- 基本的な技術（将来的に多くの新技術や幅広い応用分野に発展する可能性がある基本的な技術）
- 実用化・商品化が期待される技術
- 植物の新品種（収量、品質、耐病性等に優れ、道内において普及が見込まれる品種）
- 研究成果を普及する上で必要な商標（研究成果の適切な普及を促進する上で必要性が高いと考えられる商標）
- 著作物及び成果有体物

■共同研究、受託研究における知的財産権の帰属

共同研究および受託研究における知的財産権の帰属は、下記のとおりとなります。

共同研究において発生した発明等に係る知的財産権（以下「本知的財産権」という。）は、道総研及び共同研究者又は共同研究者に所属する研究員（以下「共有者」という。）が協議の上、持分を定め共有することができます。前項の場合において、共有者から当該権利に係る持分を道総研に譲渡したい旨の申出があるときは、道総研は当該持分を承継することができます。

受託研究において発生した発明等に係る知的財産権は、道総研に帰属します。ただし、契約で別段の定めをした場合はこの限りでなく、本知的財産権を共有する場合は道総研及び委託者が協議の上、持ち分を定めるものとしています。

■道総研が所有する知的財産権に関するお問い合わせ

特許等を活用したい方で、実施許諾等を受けたい場合は、下記の担当グループにお問い合わせください。

- 北海道立総合研究機構 研究企画部 知的財産グループ

Tel : 011-747-2806

mail : hq-rps@hro.or.jp